

国土交通大臣賞

## 株式会社 紀州まちづくり舎

◆所在地：和歌山県和歌山市

◆活動概要：中心市街地の商店街で定期的なマルシェを継続開催し、多様な主体の参加拡大、新規出店の誘発、クラウドファンディングも含めた自主財源による安定的な運営が図られるまで成長するとともに、空き店舗のリノベーションによる事業者誘致やトライアル出店の場の提供、更には都市再生推進法人として水辺空間の活用等にも取り組み、まちなかの賑わい再生と地域の価値の向上に大きく貢献しています。

◆選定理由：民間主導のリノベーションまちづくりを基本とした遊休不動産等の活用による、まちの産業振興、雇用創出、コミュニティ再生、エリア価値向上を目的とし、戦略的に取り組まれており、まちの活性化や賑わいの創出に貢献し、先導性、多様性、継続性に優れた取組であると評価されました。



▲ポポロハスマーケット



▲まちなかカヌー体験

審査委員長賞

## 泉中央駅前地区活性化協議会

◆所在地：宮城県仙台市

◆活動概要：泉中央駅周辺において、地域住民等が自ら企画・実施するイベントを長年継続するとともに、駅前広場の運営管理と利活用を道路占用の特例により担うことで、来場者の増加が図られているほか、広場の使用料や広告料収入等により持続的な協議会運営が可能となり、賑わいや快適な空間の創出による地域活性化に貢献しています。

◆選定理由：「地域住民主体」「多頻度」「ローコスト」を運営の基本とした賑わい空間の活用による、地域活性化を目的とし、地域住民、事業者、行政機関が連携して取り組まれており、賑わいや快適で生き生きとした空間の創出に貢献し、先導性、継続性が高く評価されました。



▲地域住民主体のイベント（ライブ）



▲泉マルシェ

## 審査委員長賞

### 加賀まちづくり協議会

◆所在地：東京都中央区

◆活動概要：加賀前田藩下屋敷跡地という地区の歴史・環境を保全しながら、職と住が共存できる民間開発の受入れのため、任意のまちづくり計画の策定と地区計画提案への進化、地域住民・企業・公共施設管理者等が連携した事業者との協議を通じ、地元ニーズに即した、ゆとりある公共的空間の整備を実現しており、地域の価値向上に貢献しています。

◆選定理由：地元企業と住民が主体となり、地区内外の関係者との連携を図りながら、地区の景観形成や安全確保など、多分野にわたるまちづくりや計画的整備に係る協議立案等に貢献し、公益性、継続性が高く評価されました。



▲民間事業者との計画協議



▲ゆとりある公共的空間整備

## 審査委員長賞

### 株式会社 WAKUWAKU やまのうち

◆所在地：長野県下高井郡山ノ内町

◆活動概要：空き店舗増加・観光客減少の負の連鎖から脱し、インバウンドによる湯田中温泉街の再生を図るため、遊休物件のリノベーションによる滞在環境の整備、地元ベテラン有志による若手経営者の人材育成・誘致、効果的な情報発信等に取り組み、短期間での外国人宿泊者の倍増、後続店舗の参入など街の雰囲気が変わり、地域の活性化に貢献しています。

◆選定理由：温泉街全体を一つの経営単位と捉え、外国人観光誘客に焦点を当てた地域発の様々な戦略的取組により、賑わいの創出、地域の再生・活性化に貢献し、その効果が高く評価されました。



▲洋品店を改修したカフェ



▲まちづくり委員会兼協議会

## 総 評

これからの民間施設及び都市施設を活用した地域のまちづくりにおいては、まちづくり法人が中心となって、事業収入を確保しながら、その経営能力やコミュニティのつながりを活かして、持続的にまちづくりを推進することが期待されています。

第8回目となる今回のまちづくり法人表彰においては、まちの活性化や魅力創出に貢献した取組等、全国から多くの優れた取組の応募がありました。

厳正な審査の結果、1件の「国土交通大臣賞」を選定するとともに、今後の更なる活動の発展を期待する取組について審査委員会から3件の「審査委員長賞」を選定することといたしました。今回受賞された取組は、先導性・公益性・多様性・継続性・効果の観点から、総合的に優れており、全国のモデルとなるような取組として審査委員会の高い評価を得たものです。

今回惜しくも受賞に至らなかった取組を含め、次回もより多くの優れた取組が応募されることを期待しております。

### 《まちづくり法人表彰等審査委員会》

委員長	奥野 信宏	(名古屋都市センター所長)
委員	佐藤 滋	(早稲田大学研究院教授)
委員	村木 美貴	(千葉大学大学院工学研究科教授)
委員	山崎 智之	((株)日本政策投資銀行地域企画部課長)

(敬称略、五十音順)